伴学区 社協だより

発行　伴学区社会福祉協議会
住所　〒731-3164 安佐南区伴東7丁目64-8
電話　082-848-3277

共生社会の実現へ地域でスクラム

～伴晴英会長の新年あいさつ～

伴学区社協は、みんなが支え合い、安心して暮らせる**地域共生社会**の実現を目指して活動しています。

昨年は新型コロナウイルス感染症のため、社協の事業計画も大半が中止に追い込まれました。福祉の役割が重みを増す中、正念場の感染症対策も地域の力が大切です。

みらいちゃんマスクを地域に届ける伴会長㊧
(昨年5月4日・和楽荘)

たくさんの方々が協力した「**みらいちゃんマスク**」も地域が結集した賜物です。困った時は「**お互いさま**」。その気持ちを合言葉に共助の意識を高めたいと願います。

厳しい状況の十一月、広島市から当社協の**協力団体**に応援金が給付されました。子どもからお年寄りまで地域の幸せを願う各種団体の献身的な活動に頭が下がります。

応援金には、この地域貢献に感謝し、共生社会を築く旗手としての期待が込められていると考えています。

私たち社協は、各団体と連携を強め、各団体も社協の事業に積極的に参加していただいて「**福祉の伴**」づくりを一緒に進めたいと思います。どうぞよろしくご理解、ご協力をお願い致します。

感染症に負けず　支え合いの輪

～マスク作りに９団体結集～

伴社協は五月、みんなの善意銀行の賛助基金４万円余を活用、手芸や裁縫グループと協力して「みらいちゃんマスク」を作り、小規模の高齢者施設や障がい者事業所に贈りました＝一面関連。

マスクを手作りする女性たち（５月２日・沼田老人いこいの家）

コロナ禍でマスク不足が深刻になったために企画。沼田公民館で活動する手芸ひなげしの会、パッチワークグループ、ＭＹソーイングの三団体と障がい者作業所ひだまりの家、工房ともなど計九団体が協力して布製マスク計八百六十枚を手作り。地域の十二施設に届けました。

池田美代子事務局長は「困難な時、地域の力を合わせることができた。みなさんの思いをこれからも形にしていきたい」と地域の支え合いに手ごたえを感じていました。

交流や見守りを応援
～善意銀行助成金～

みんなの善意銀行は、地域の福祉活動や貢献活動を幅広く支援しています。昨年十月から申請を受け付け、十一件に物品や資金を助成しました。

感染症対策に要望が強い体温計と手指消毒液をお年寄りのサロン七カ所と三城田集会所、参拝客の多い岡崎神社に提供。グリーンヒル大原の子ども見守り隊に長靴・手袋十八人分を支給。新年度に出店を目指す「みらいちゃんショップ」運営委員会に資材の資金（二十万円）を援助しました。

助成金は、伴地区の社会福祉施設、団体、ボランティアグループを対象に三月末まで申請を募っています。

書面審議で４議案を承認
～令和２年度評議員会～

伴社協の令和二年度評議員会は、感染症対策のため六月、書面審議し一般会計予算案など四議案を承認しました。

予算総額２０９万８１４４円。前年度実績より50万２６９２円減としました。支出面では、敬老会補助金（一人四百円）が「みんなの善意銀行」特別会計からの支払いに変更。団体助成金等も前年度から善意銀行会計に移しています。

収入では、長年依存した特別会計繰り入れをなくしました。町民（三千五十世帯）が町内会経由で納める会費（一世帯二百円）が61万円と、全体に占める比率は前年度二割余から三割弱と高まりました。

みんなの善意銀行の予算総額は、前年度実績より36万３１７４円増の３６７万００８１円。収入では賛助会員年会費40万円、支出は「とも福祉フェスタ」５万円、「新しい生活様式」に対応した福祉を創造する新規支援団体補助金50万円を計上しています。

福祉の伴は「元気なまち」です

コロナに負けない！元気なまちづくりプロジェクト。こう銘打つ広島市の地域活動支援事業の申請に、伴社協が主体になる「みらいちゃんショップの展開」など学区内の三件が採択されました＝別表通り。

みらいちゃんショップは、沼田合同庁舎の交流スペースで令和元年に始めた「とも福祉フェスタ」を発展。障がい者作業所の物品を販売し、地域のみなさんと触れ合う「福祉のとも」発信の記念すべき取り組みになります。

この他、「アートな伴クラブ」の創作神楽「火山」の展開▽伴の古道を生かす「権現峠の全観光資源ブラッシュアップ」の二件です。

火山を題材にした神楽創作事業は、ふるさと祭りなど地域の行事に活用できる舞台の製作も含みます。

広島市が提案した大型の支援事業（補助率９割）は、住民主体の持続的な活動を支援し、地域の魅力と共助の意識を高める目的があります。

福祉フェスタの出店

ふるさと祭りの神楽上演

権現峠の観光案内

元気なまちづくりプロジェクト

事業名称	申請団体と代表者	申請金額
みらいちゃんショップの展開	同ショップ運営委員会 伴晴英代表	200万円
創作神楽「火山」の展開	アートな伴クラブ 秋野征治代表	1,000万円
西風新都に古代歴史シンボルを 権現峠の全観光資源ブラッシュアップ	権現峠の自然をまもる会 山崎勇代表	238万円

地域情報掲示板 ひやま

沼田公民館の「おかあさんの広場」は、零・一歳児とお母さんのオープンスペースです。ふれあい遊びや音楽会、絵本、人形劇も。社協や女性会、民児協が協力。ボランティアで参加する女性会の池田美代子さんは「日ごろの様子をお聞きしたり、お子さんを抱っこしたり、楽しい時間です」。

毎月第三水曜を原則に午前十時から十一時半まで。

みんなの善意銀行 もやい結び

★賛助会員

登録数は十一月末現在、個人（一口千円）百人、企業・団体（一万円）三十団体です。

伴学区公衆衛生協議会と伴地区青少年健全育成協議会も、広島市からの感染症対策に伴う応援金を受けて十口と一口の賛助会員登録をしました。

▼一般寄付者

◎…竹本縫製の竹本幸三社長が五月、「みらいちゃんマスク」製作の謝礼5千円を寄付。

◎…「伴　まちかど　deアート」の展示会場になった「珈琲　蔵人珈蔵」沼田店の山本雅澄社長が六月、「アートな伴クラブ」から寄せられた3万円を寄付。

◎…三城田町内会「敬老祝い」への謝礼に昭和十九年中年生まれの荒槇正隆、大迫頼章、川原秀之、川本一之、新川定男、中田春男の6氏が十月、計1万2千円を寄付。

その他の寄付者は次の通りです。

呉　市　源田和幸
三城田　河岡芳江
　　　　箕田文雄
　　　　武知千香子

▼香典返しにかえて

（令和二年三月～令和二年十一月）

町内会	寄付者御芳名	死没者名
大原	見田徳行	ハルエ
奥畑	山田初則	ユリコ
伴中央	福島賢司	坂本藤枝

短信　伴あんしんネット

一人暮らしや高齢世帯のお年寄りを見守る活動。お年寄りの登録者三十七人。近隣の協力者が、あいさつや声掛けで支えています。

戸山・伴・大塚地域包括支援センター内　伴あんしんネットの会
電話（八四九）五八六〇

令和二年度社協役員のみなさん

会長　伴　晴英
副会長　川本一之
兼高齢者福祉部会部長　伊藤修太
兼善意銀行事務局長　池田美代子
兼福祉委員部会部長　有馬義憲
兼児童福祉部会部長　西田雅行
地域福祉推進委員　稲葉憲治
事務局長　山田初則
会計　塚本　一
総務部会部長　中村晴男
広報部会部長　圓山文雄
障がい者福祉部会部長　新村雅雄
ボランティアバンク
　事務局長　上野昭司
福祉委員
副部長　国光克恵（三城田）
【奥畑】
山田敏枝▽玉代久子▽平本克枝▽香川道子▽引地葉子
【上伴】
木村恵子▽薬師小壽枝
【伴中央】
水嶋紘代▽田中　操▽河野幸子▽西尾満寿子▽瀬戸迪子
【三城田】
田所和子▽中本ひとみ▽松田暁枝
【大原】
有馬美枝子▽岡本純子
【グリーンヒル大原】
網本美紀子▽大西正子
【ライオンズマンション大原】
加藤栄治
【雲願寺】
森田和久▽垰　英明
【細坂】
天王あつ江▽有馬智映子
【広陵】
原　信子▽小川眞智代▽前川澄江
【大下中畑団地】
岡松キヌコ▽佐々木育子
【瀬戸内苑団地】
西原雅子▽西山ヨシミ
【寿団地】
高矢勢津子▽山田　幸▽川原えり子
【若葉台】
岩﨑静子▽濱中綾子
顧問
谷口　修▽川本和弘▽川原春巳
理事
新見　健▽福島賢司▽加藤栄治▽秋野征治▽上垣内保之▽新川　博▽程兼　実▽古田康二▽宮本博子▽重村直美▽藤井一志▽中本　尚▽沖原光明▽山村勝久▽神谷恵司▽石富三弘
監事
大迫俊治▽原田佳代子

おめでとうございます

安佐南区社会福祉協議会 会長表彰

伴社協　池田美代子
伴中央　水嶋紘代
三城田　北川信夫

（敬称略）